

蔵田1号遺跡出土の鹿角装短刀

古墳時代の墓からは比較的良好に鉄刀が出土します。刀身は基本的に木製の鞘に入っており、柄も木製が多かったようですが、蔵田1号遺跡(東広島市高屋町)の箱式石棺墓から出土した鉄刀の柄は鹿角で作られていました。このような刀を鹿角装(ろっかくそう)鉄刀と言います。鹿角装鉄刀は5~6世紀前半頃にかけて全国的に見られますが、広島県では数点しかなく、非常に珍しいものです。鉄刀は全長38.8cmの短刀で、切先および柄付近には漆が付着しており、漆塗りの木製鞘に入っていたものと考えられます。鹿角には文様が彫られていることが多いのですが、蔵田1号遺跡出土のものは文様はみつかっていません。わざわざ鹿角の柄をつけた理由はよくわかりませんが、この短刀が出土した石棺は集団墓の中心的な墓であり、特別なものであったことが推測されます。短刀は埋葬された人物にぴったりと寄り添うように納められており、生前の愛用品だったのかもしれませんが。

お問い合わせ

公益財団法人広島県教育事業団 埋蔵文化財調査室
〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8-49
TEL 082-295-5751
FAX 082-291-3951
Eメール: maibun@harc.or.jp



みなさんこんにちは!
埋蔵文化財調査室
マスコットキャラクターの
ひろちゃんとやよいちゃんです。



ひろちゃん やよいちゃん



蔵田1号遺跡出土の
鹿角装短刀



○の部分柄に使用
鹿角装短刀

やまちゃんの 健康・体力 ワンポイントアドバイス

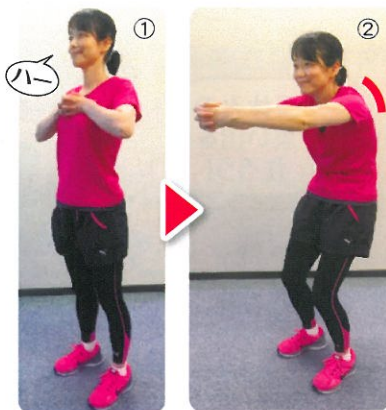
肩こり解消!エクササイズ

注意

痛みやきつと感じたときは無理を
しないようにしましょう。

健康・体力サポートセンター 山本 美由紀
健康運動指導士 Yamamoto Miyuki

肩甲骨周辺



- ①両手を胸の前で組み、口から息を吐く。
- ②息を吸いながら両手を前に伸ばし背中を丸めていく。

左右の
肩甲骨を外に
開くイメージ!

②の姿勢を10~15秒キープ
①~②を2~3回繰り返します。

胸~肩



胸の上部が心地よく
伸びているのを感じよう

- ①両手を後ろで組み、息をゆっくりと吸う。
- ②息を吐きながら、両手を斜め下に引き下げる。

左右の
肩甲骨を閉じる
ように意識!

息を吐きながら伸ばす。
心地よい伸びを感じたら10~15秒保つ。
①~②を2~3回繰り返します。

参考文献「ストレッチ大全」著者 有賀誠司

☆スポカルについてのお問い合わせは

広島県立
総合体育館

〒730-0011 広島市中区基町4-1
TEL (082)228-1111 FAX (082) 228-4992
HP / <http://www.sports.pref.hiroshima.jp/>
Eメール / g-arena@sports.pref.hiroshima.jp

編集発行 / 公益財団法人広島県教育事業団
広島県立総合体育館
平成29年(2017年)7月28日発行